

一般社団法人 薬学教育協議会
第 43 回理事会議事録

日 時：平成 27 年 11 月 19 日（木） 14:00～16:30

場 所：日本薬学会長井記念館 1 階 B 会議室

出席者：別記 1

配付書類：別記 2

○定足数について

理事総数 19 名中、10 名の理事が出席した（内 2 名協議事項終了後退席）。定款第 37 条に定める定足数を満たしているため、本日の理事会は成立すると阿刀田事務局長が報告した。

○理事の辞任、交代について

社員代表者の交代に伴い、私立大学東ブロックから選出された望月眞弓氏（慶應義塾大学教授）が理事を辞任した（定款第 29 条第 2 項「社員代表者の中から選任された理事が社員代表者でなくなったときは理事資格を喪失する。」による）。

私立大学東ブロックの補欠である西島正弘氏（昭和薬科大学学長）が後任の理事となった。なお、望月眞弓氏からは辞任届、西島正弘氏からは就任承諾書を受領した。

○議案

1. 支部運営規則（案）について

支部運営規則（案）（資料 8-2）は、第 40 回理事会（平成 26 年 11 月 20 日開催）において原案が原則承認され、地区調整機構の意見・要望を汲んで最終案を定めることになっている。このため、病院・薬局実務実習中央調整機構委員会において 1 年に渡り協議をし、各地区調整機構の意見・疑義に対処したと須田業務執行理事が報告した。資料 8-1（支部運営規則の骨子）を中心に説明し、支部運営規則（案）は異議なく承認された。なお、施行日は平成 27 年 11 月 19 日とする。

山本理事から、支部間にバラつきがあるとの声が現場から聞かれるので、本規則第 2 条「支部は、この法人の運営方針に従い、その指導の下、必要な事業を地域的に行うことを目的とする。」を厳格に運用してほしいとの発言があった。

2. 委員会に関する基本規則（案）について

資料 1（委員会に関する基本規則（案））に基づき、須田業務執行理事が説明した。

基本規則の方向性は承認されたが、詳細に関しては、次回の理事会に再度諮ることになった。

3. 中央調整機構委員会規則（案）について

資料 2（中央調整機構委員会規則（案））に基づき、須田業務執行理事が説明した。

中央調整機構委員会規則の方向性は承認されたが、詳細に関しては、次回の理事会に再度諮ることになった。

4. 会計処理規則（案）について

資料 3（会計処理規則（案））に基づき、須田業務執行理事が説明した。委員会に関する基本規則（案）、中央調整機構委員会規則（案）と同様に、次回の理事会に再度諮ることになった。

5. その他（補正予算について／薬学教育者ワークショップ）

現在、薬学教育者ワークショップ及び指導薬剤師を対象としたアドバンスワークショップの実施に向けて準備をしている（資料 4 参照）。本事業は、平成 27 年度文部科学省委託事業「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業」に応募した事業の一つだが、委託事業に不選定となったため（追加資料：文部科学省委託事業の選定結果（文部科学省より））、本事業のうち、「全国薬学教育者アドバンスワークショップ」については、予備費から 170 万円の補正予算を組んで実施することを認めていただきたいと阿刀田事務局長が提案し、一同異議なく承認した。

全国薬学教育者アドバンスワークショップ以外の費用については、各地区調整機構が負担する予定である。なお、大阪大学平田収正教授（課題解決型高度医療人材養成プログラム）とも費用について今後相談する予定である。

本事業については、日本薬学会第 136 年会一般シンポジウムにおいて平田教授が発表する。

○協議、報告事項

1. WEB システム検討委員会について

資料 5-1（第 1 回 WEB システム検討委員会議事録）、資料 5-2（薬学実務実習を支援する WEB システムに関するアンケート）、資料 5-3（改訂実務実習における連携の重要性）に基づき、阿刀田事務局長が経緯を報告した。

現在、薬学教育協議会のウェブサイトにおいてアンケート（資料 5-2）を実施中である。この結果に基づいて、共通して使える機能、仕様を提案すると説明した。なお、本事業については、日本薬学会第 136 年会一般シンポジウムにおいて木津純子教授（慶應義塾大学）が発表する。

2. 改訂モデル・コアカリキュラムに基づく薬学実務実習に関する事前調査について

資料 6（事前調査スケジュール）に基づいて、現在薬学教育協議会のウェブサイトにおいて、第 2 回調査を実施中であることを阿刀田事務局長が報告した。また、第 1 回調査で実施した関東地区の薬局の解析を一部紹介した。この結果を基に、平成 31 年度からスムーズに実習が実施できるようシミュレーションを行う。なお、本事業については、日本薬学会第 136 年会一般シンポジウムにおいて伊東業務執行理事が発表する。

3. 日本薬学会シンポジウム準備状況について

資料 10（日本薬学会シンポジウムプログラム（案））に基づき、望月代表理事が報告した。

4. 第 27 回、28 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会について

資料 7-1（第 27 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録）、資料 7-2（第 27 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録）に基づいて、阿刀田事務局長が報告した。

第 28 回同委員会協議事項 7「臨床系（実務家）教員の再研修について」に関して、病院では「診療補助従事者」として部外者を受け入れる制度があるとの情報提供があり、この表現について意見が出された。病院によって呼び名が異なるため、統一は難しいのではないかとの意見も出された。

5. 日本薬学教育学会について

日本薬学教育学会設立準備連絡会議の委員である望月代表理事、ワーキンググループのメンバーである富田専務理事が日本薬学教育学会について報告し、意見交換した。薬学教育協議会の事業と重なるのではないかと危惧する意見が出された。また、「薬学教育懇話会」が学会に加入予定であるとの情報提供があった。

6. その他

1) 三輪監事から薬剤師法改正について話題提供があった。

2) 第 44 回理事会の日程について

次回第 44 回理事会は、平成 28 年 3 月 23 日（水）14～17 時を第一候補日として、来年 1 月中旬に日程調整をすることになった。

以上、相違ありません。

平成 27 年 12 月 10 日

一般社団法人 薬学教育協議会

代表理事 望 月 正 隆

(押印済み)

監 事 三 輪 亮 寿

(押印済み)

監 事 齊 藤 勲

(押印済み)

別記 1 一般社団法人 薬学教育協議会 第 43 回理事会出席者名簿

	氏名 (敬称略)	所属	出欠
代表理事	望月 正隆	学術正会員 (東京理科大学)	○
業務執行理事・ 専務理事	富田 基郎	学術正会員 (昭和大学名誉教授)	○
業務執行理事	伊東 明彦	学術正会員 (明治薬科大学)	○
業務執行理事	伊藤 智夫	北里大学薬学部	欠
業務執行理事	須田 晃治	学術正会員 (明治薬科大学名誉教授)	○
業務執行理事	増野 匡彦	学術正会員 (慶應義塾大学)	○
理事	市川 厚	武庫川女子大学薬学部	欠
理事	乾 賢一	京都薬科大学	欠
理事	嶋田 一夫	東京大学大学院薬学系研究科	欠
理事	高倉 喜信	京都大学大学院薬学研究科	○
理事	高山 廣光	千葉大学大学院薬学研究院	欠
理事	西島 正弘	昭和薬科大学	○
理事	山元 俊憲	昭和大学薬学部	欠
理事	杉山 政則	国公立大学薬学部長 (科長・学長) 会議	欠
理事	井上 圭三	日本私立薬科大学協会、薬学教育評価機構	欠
理事	山本 信夫	公益社団法人日本薬剤師会	○
理事	北田 光一	一般社団法人日本病院薬剤師会	○
理事	豊島 聰	(財) 日本薬剤師研修センター	○
理事	太田 茂	公益社団法人日本薬学会	欠
監事	三輪 亮寿	三輪亮寿法律事務所	○
監事	齊藤 勲	元厚生省大臣官房	○
顧問	井村 伸正	公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター	○
顧問	百瀬 和享	(昭和大学名誉教授)	○
事務局長	阿刀田 英子	薬学教育協議会	○
オブザーバー	三田 智文	東京大学大学院薬学系研究科	○

別記 2 配付資料

- 資料 1： 委員会に関する基本規則（案）
- 資料 2： 中央調整機構委員会規則（案）
- 資料 3： 会計処理規則（案）
- 資料 4： 教育者WS 及びアドバンストWS の今後の進め方（資料 4-1 の要約版）
- 資料 4-1： 今後の薬学教育者ワークショップ等の実施について
- 資料 4-2：（資料 1） 全国アドバンストワークショップ プログラム案
- 資料 4-3：（資料 2） タスクフォーススキルアップ研修会・モデルプログラム案
- 資料 4-4：（資料 3） 認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンストワークショップ・モデルプログラム案
- 資料 4-5：（資料 4） 薬学教育者ワークショップ・改訂プログラム案
- 資料 5-1： 第 1 回 WEB システム検討委員会議事録
- 資料 5-2： 薬学実務実習を支援する WEB システムに関するアンケート（案）
- 資料 5-3： 「改訂実務実習における連携の重要性」
- 資料 6： 改訂モデル・コアカリキュラムに基づく薬学実務実習に関する事前調査スケジュール
- 資料 7-1： 第 27 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録
- 資料 7-2： 第 28 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録
- 資料 8-1： 支部運営規則の骨子
- 資料 8-2： 支部運営規則（案）
- 資料 9： 平成 27 年度文部科学省委託事業申請
- 資料 10： 日本薬学会シンポジウムプログラム（案）
- 資料 11： 「日本薬学教育学会」設立準備に関する報告（日本私立薬科大学協会理事会資料）
- 追加： 次回連絡会議に報告すべき事項（案）
- 追加： 文部科学省委託事業の選定結果（文部科学省より）
- 追加： 三輪監事よりの資料